

## モリコロパークの隣で考えるアントレプレナーシップ教育

Report

## Day1

2025年10月18日(土) 9:30~16:30

## 夢の世界から題材を見つける

会場 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター内 多目的室4

## オリエンテーション

「愛・地球博」開催時の最先端のロボット・AI技術を学ぶ。

愛・地球博記念公園内を散策。来場者対応ロボット、警備ロボット、清掃ロボット等を学ぶ。

愛・地球博記念館の見学。AI関連の素材を収集。

グループディスカッションで見つけた素材について話し合った。AIの3つの特徴(①園内での見つけた素材②メリットとデメリット③共生のための行動指針)を話し合い。

プレゼンテーションで話し合った内容を発表。

## 講師からの講評



## Program

## Summary

## STEP 1

## 愛・地球博記念館の見学

案内スタッフの説明を受けながら見学。まずは会場のジオラマを見せてもらいながら博覧会の全体像を把握。**2005年に活躍していた最先端のロボットやAIの技術・性能に触れてもらった。**特に万博期間中に活躍したロボット（清掃ロボット、ロボットアテンダント「WAKAMARU」、案内係として働いた「アクトロイド」等）が展示されていたギャラリー3では、スタッフに質問を投げかけるなど興味深く見学していた。

## STEP 2

## 「愛・地球博」記録映像を視聴

「愛・地球博」開催時に活躍したロボットの技術・性能紹介のほか、スタッフの奮闘の軌跡も紹介されていた。当時の英知を結集して開発された案内役や司会をこなした「アクトロイド」の実証試験レポートが、**その後のロボット開発の技術進化にとって貴重な資料**となったことや、パトロールや会場案内に活躍した「ガードロボ」、自動清掃ロボットは機能も乏しくサイズもルンバのように小さくできなかったという説明を受け、**現在までの技術の進化**を実感したようだった。

## STEP 3

## 公園内を散策し、ロボットやAIに関する素材を収集

6つのグループに分かれて公園内を自由に散策。愛・地球博記念館や記録映像で学んだ内容をヒントに、園内で利用されているAIやロボットを探してもらった。同時に、**AIやロボットを使うことで公園内をより良く、より便利にできるようなアイデア**がないかについても考えてもらった。

## STEP 4

## グループディスカッションと発表

散策で見つけたAIやロボットの素材、ロボットやAIを使うことのメリットとデメリット、これらと共生していくために、自分たちは今後どうすべきかについてグループごとに話し合ってもらい、集約した意見を発表してもらった。